

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

奈良市長 殿



令和 2 年 6 月 22 日

提出者

住所 大阪府大阪市福島区福島6丁目2番6号

氏名 株式会社 安藤・間 大阪支店

執行役員支店長 藤本 明生

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6453-2190

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和元年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 安藤・間 大阪支店
事業場の所在地	奈良市内各所
事業の種類	建設業 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	平成 31 年 4 月 1 日 から 令和 2 年 3 月 31 日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	96355 t	全処理委託料	96355 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	18535 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	15753 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

※事務処理欄

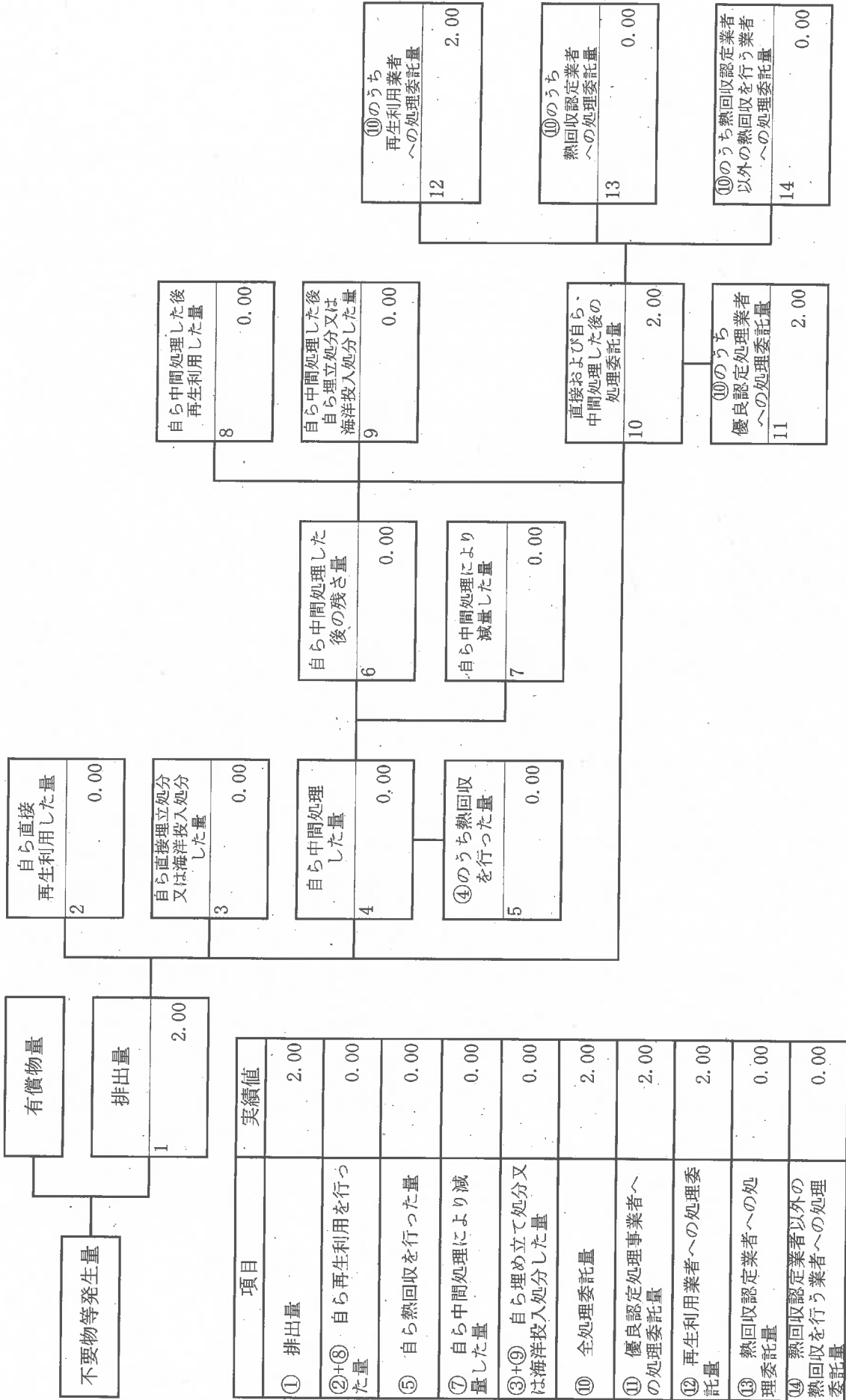
産業廃棄物処理計画実施状況報告書 別紙

氏名又は法人名 株式会社 安藤・間 大阪支店	報告担当者所属部署 安全環境部	担当者氏名 下田 努	電話番号 06-6454-9620
---------------------------	--------------------	---------------	----------------------

産業廃棄物の種類	排出量	自ら処理した廃棄物に関する事項										委託処理した廃棄物に関する事項						
		中間処理を含まない					中間処理を含む					自ら処理した後の処理委託量						
		1 自ら再生利用を行った量	2 自ら埋立又は焼却投入した量	3 自ら中間処理を行った量	4 自ら中間処理を行った量	5 うち焼却投入を行った量	6 中間処理後の残さ量	7 自ら中間処理により減量した量(圧縮計量)	8 中間処理後の再生利用量	9 中間処理後のうち埋立又は焼却投入量	10 全処理委託量(自動計量)	11 うち産業廃棄物者への委託量	12 再生利用業者	13 認定焼却業者	14 認定業者以外の熱回収業者	15 その他の中間処理業者	16 埋立処分業者	
1 廃アルカリ	2.00t					0.00t					2.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	
2 廃プラスチック類	9.40t					0.00t					9.40t	3.24t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	6.16t	0.00t
3 木くず	220.59t					0.00t					220.59t	161.88t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	58.71t	0.00t
4 繊維くず	0.80t					0.00t					0.80t	0.30t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.50t	0.00t
5 ガラスくず等	90.00t					0.00t					90.00t	14.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	76.00t	0.00t
6 がれき類	30,637.30t					0.00t					30,637.30t	1,647.30t	28,990.34t	0.00t	0.00t	0.00t	1,646.96t	0.00t
7 石綿混産産業廃棄物	633.20t					0.00t					633.20t	192.20t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	633.20t
8 管理型混合廃棄物	417.26t					0.00t					417.26t	417.26t	120.59t	0.00t	0.00t	0.00t	296.67t	0.00t
9 蛍光灯等	5.00t					0.00t					5.00t	5.00t	4.05t	0.00t	0.00t	0.00t	0.95t	0.00t
10						0.00t					0.00t						0.00t	
11						0.00t					0.00t						0.00t	
12						0.00t					0.00t						0.00t	
13						0.00t					0.00t						0.00t	
14						0.00t					0.00t						0.00t	
15						0.00t					0.00t						0.00t	
合計	32,015.55t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	32,015.55t	2,584.55t	29,296.40t	0.00t	0.00t	0.00t	2,085.95t	633.20t

(産業廃棄物の種類： 廃アルカリ)

計画の実施状況



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理した後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況が明らかにした書類を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。